

上田高等学校

## 関西同窓会報

第50号

2020年(令和2年)

1月17日(金曜日)

編集発行

上田高等学校関西同窓会



### 第29回総会・懇親会

## 48期から83期までなごやかに交流

上田高校関西同窓会の第29回総会・懇親会は、令和元年9月7日(土)、大阪コロナホテルで開催され、会員・来賓の29名が参加しました。午前10時からの総会に続く講演会は、同窓会本部の金子元昭氏が「長野県の中小企業の現状と将来」についてお話されました(講演内容は8~9頁に掲載)。引き続き行われた懇親会は、48期から83期までの参加者が交流を深めました。

総会では活動報告・次年度活動計画案、会計報告・次年度予算案が承認されました。活動計画では来年、関西同窓会が30周年を迎えることから、記念事業を行うことが提案され、その一環として「会報バックナンバーのデータ化と公開」「30周年の歩み」の冊子作成が承認されました。

役員人事は新たに堤宏記氏(79期)を副幹事長に迎える案が承認されました。

お越しいただいた来賓の皆さんは以下の通りです。金子元昭様(本部理事長)・廣田昌彦様(学校長)・百瀬慎一様(同窓会担当教諭)・上原昇様(関東同窓会長)・武村洋治様(中南信

支部顧問)。

午後からの懇親会では、金澤信男(67期)・荻原靖(74期)両氏の司会のもと、和やかに進行しました。来賓あいさつに続き、各期の方々からお話をいただきました。52期の奥紀子さんは上田高校に初めて入学した女子学生のひとりで、その受験のいきさつをお話いただきました。大変興味深いお話でしたので、その内容を原稿にまとめていただきました。次ページに掲載しています。

会は松本から来られた武村洋治様の音頭で校歌を歌ったのち、佐藤則一氏(70期)の音頭で万歳三唱をしてお開きとなりました。

## 男子校受験のいきさつ —「便所どうするんだ？」と言われ—

奥 紀子 52期



私は52期生で女子の一期生、昭和11年1月生まれの84歳。戦前・戦中・戦後と、目まぐるしく変わる時代を生きてきました。戦後、国の教育制度は大きく変わり、新制度では「男女席を同じゅうせず」から「男女共学」となりました。それまで今の上田高校は、上田中学と言うバリバリの男子校でしたが、旧制中学は高等学校となり、校名も上田松尾高等学校に変わっていました。

ところが新制になり男女共学になっても上田松尾高校は女子学生の定員を提示せず、全日制の女子学生ゼロという状態。そんな時に上田第三中学（さんちゅう）に在籍していた私は高校進学に直面したのです。

ある日、京大生だった今は亡き克己兄が帰省し、「お前、高校はどこに行くんだ？大学まで行く気だろ？これからの女性は社会に出たら男と伍してやっていかねばならないから、女だけを相手にしてはダメ。松尾に行けよ。新制になったんだから学校は拒否はしないだろう。男の中で揉まれろよ」と言うのです。

私は風のうわさに「女子高では風紀委員会というのがあって、制服のスカートの長さをチェックされたり、従兄弟と歩いていたら風紀委員に呼び出されて注意されたり、…いや、兄弟でもだめらしいよ…」などと聞いており、「嫌だな～」と思っていたので「その手があったか～！」と兄の助言は渡りに船。母親も「それは良い考えだね～」と兄に同意して、担任にもその意を伝えました。

担任も賛成してくれました。そんな噂はすぐに校内に広がり、じゃあ私もという人が5～6人はいたと思います。ところがある日、隣のクラスの担任に呼び出され、「奥、お前、松尾を受けるんだって？やめとけよ男の学校なんか…。便所どうするんだ？」と言われたのです。びっくりしました。考えてもみなかったことで、本当に驚きました。からかわれているのかと思ったのですが真面目な顔で説得する態度に“この先生あほかー”と腹が立ってきて、「先生！学校の価値は便所で決まりませんよ！便所ぐらい何とでもなります！私はやめません！」と言いつつ返していました。

でも、ふたを開けてみたら5～6人いた松尾希望者は私一人でした。結局その年(昭和26年)の女子の合格者は12名、1ダース。初めての女子合格者となった12名は6名ずつ3組4組の2クラスに配属されました。今でもこの学校選択は正しかったと思います。因みにトイレで困ったことは皆無！でしたよ。



佐藤則一氏(70期)の音頭で万歳三唱

## 自然の力の大きさを実感・痛感しました

会長 竹内俊隆 (68期)



新年あけましておめでとうございます。念頭にあたり、会員の皆様方のご健勝、そして本会の活動への倍旧のご協力をよろしくお願い致します。

昨今は地球温暖化のためか、異常気象が散発するようになりました。昨年秋はなんと故郷上田に大きな台風被害が生じました。普段はあまり降雨が多い地域ではないので、まさかと思いましたが、国分付近では千曲川が氾濫し、上田交通の鉄橋が崩れ落ちるという大被害が生じました。高校生時代はバスや自転車通学をしていましたが、その途中に通った上田橋から見たあの赤い鉄橋が崩落するとは夢にも思いませんでした。

また海野宿橋も崩落し、しなの鉄道が不通になりました。これらにより小諸方面および塩田や別所地区からは当面電車通学ができなくなりました。この間の学校関係者などの方々のご奮闘の詳細は、本号にある母校の報告をご覧ください。

今般改めて自然の力の大きさを痛感、実感した次第です。私見になりますが、動物の一種族でしかない人間族(人類)は、食物連鎖の最上位に君臨し、地球の支配者のごとく振舞っています。

しかし、地球の自然環境からの人間族に対するしっぺ返しが始まる、始まっているかもしれません。人間族も他の動植物と変わりなく、地球の自然環境に適合して発展してきました。地球環境と共存していきたいものです。

### 本部・支部の活動に参加しました

2019年11月9日 荻原会計長 (本部会員大会)

2019年11月16日 土屋広報委員長 (中南信支部第26回総会)

### 上田高等学校関西同窓会 令和元年度 役員名簿

会長	竹内 俊隆 68期	副会長	金澤 信男 67期
幹事長	隅田修一郎 64期		
副幹事長	佐藤 則一 70期	提 宏記 79期	
会計長	荻原 靖 74期	副会計長	尾崎 忍 76期
監 事	清水 正博 67期	顧 問	石沢 誠司 60期
企画委員会	委員長 尾崎 忍 76期 (兼)		
	隅田修一郎 64期	金澤 信男 67期 (兼)	上記役員全員
広報委員会	委員長 土屋 俊夫 83期	石沢 誠司 60期 (兼)	
文化委員会	委員長 武舎 一夫 73期	隅田修一郎 64期 (兼)	
学年幹事			
小泉 孝雄 49期	半田 仁志 50期	翠川 健彦 51期	大瀧 忠長 52期
荒井 正自 53期	清水 克正 54期	若林 忠之 55期	大野せき子 56期
中嶋 巖 57期	白井 彰彦 58期	伊倉 邦人 59期	山本 努 60期
黒岩 屹 62期	丸山 文夫 64期	恩田 隆 65期	金澤 信男 67期
知野 武文 68期	伊藤 秀一 70期	中村 智子 72期	武舎 一夫 73期
荻原 靖 74期	尾崎 忍 76期	戸田 有一 79期	土屋 俊夫 83期
近江 裕之 85期	高橋 路子 88期		

## 平成30年度活動報告（平成30年9月1日～令和元年8月31日）

### 平成30年

- 9月 1日（土）第28回関西同窓会総会・懇親会を開催 会員27名 来賓6名  
会 場 大阪コロナホテル  
講演会「医薬品産業の現状と将来」  
～自由闊達な企業風土で夢のある新薬の創製を～  
講 師：田辺三菱製薬株式会社相談役 土屋裕弘氏
- 9月11日（火）1年生対象社会講座への協力  
医工学分野 酒井宏水氏（83期）
- 10月 6日（土）第12回文化サロン 参加者 9名 会場 ホテルアウイーナ大阪  
『スマホを活用する入門講座』  
講師 土屋俊夫（株）NarrowGate 代表取締役 関西同窓会広報委員長（83期）
- 10月 6日（土）上田高校同窓会会員大会に竹内会長が出席。出席者約360名
- 11月 3日（土）中南信支部第25回総会に佐藤副幹事長が出席。出席者55名

### 平成31年

- 1月17日（火）関西同窓会報第48号発行会報を電子化しメールのある会員にPDFファイルを送信した。紙の会報を希望する会員には印刷した会報を送付した。  
本部および他支部には、PDFファイルを送信した。
- 1月17日（土）第1回役員会。出席者6名。
- 3月30日（土）第36回文化交流会を実施 参加者：10名。  
プラタモリ彦根＋石田三成の佐和山城跡

### 令和元年

- 6月 1日（土）第2回役員会。出席者8名。
- 6月29日（土）関東同窓会第58回総会に荻原会計長が出席 出席者272名。
- 7月 8日（月）長野支部 七夕会総会に関西同窓会から祝電
- 7月17日（水）関西同窓会報第49号発行  
発行部数は500部（関西同窓会会員430部、事務局用70部）  
本部・関東同窓会・北海道同窓会・各支部へはPDFファイルを送付
- 8月31日（土）第3回役員会。出席者8名

### 令和元年度 活動計画（令和元年9月1日～2年8月31日）

- (1) 令和元年9月7日（土）に第29回総会・懇親会を開催。会員24名・来賓5名  
会場：大阪コロナホテル 総会：2階215号室 懇親会：200D号室  
講演 「長野県中小企業センターの現状と課題」  
講師 シナノケンシ株式会社取締役社長 金子元昭氏
- (2) 広報委員会編集による関西同窓会報を年2回（1月17日、7月17日）発行する。  
1月号については、PDFファイルを作成し、メールのある会員に送付する。  
紙の会報を希望する会員には印刷した会報を送付する。（土屋広報委員長、石沢顧問）
- (3) 文化委員会主催による文化事業を年2回開催し、会員相互の交流を促進する。
- ◇秋の文化交流会 令和元年10月19日（土） 10:00～  
「伏見桃山 歴史ロマンの探訪」
- ◇第13回文化サロン 令和2年2月15日（土）13:00-16:00



テーマ「赤松小三郎について」 会 場 ホテルアウイーナ大阪

講 師 関口貞雄氏 (48 期)

- (4) 上田高校同窓会本部会員大会をはじめ、関東同窓会総会、中南信支部総会などに代表が出席し、交流を深める。

令和元年11月9日(土) 上田高校同窓会会員大会に荻原会計長が出席

令和元年11月16日(土) 中南信支部第26回総会に土屋広報委員長が出席

- (5) 母校社会講座への協力

ビジネス・都市分野 荻原靖会計長 (74 期) 令和元年10月29日(火)

- (6) 30周年記念行事

1) 「上田高校関西同窓会30年の歩み」を作成

2) 同窓会報のバックナンバーのデータ化と公開 データをお持ちの方はお知らせ下さい。

- (7) FACEBOOK などの IT 技術により会員交流の場づくりの拡充を行う。(土屋広報委員長他)

- (8) 上田高等学校の生徒が文化・スポーツなどの分野において、近畿地区で活躍する場合は応援する。

### 平成30年度 会計報告 (単位:円)

収支計算書 (平成30年8月26日～令和元年8月25日)			
収入の部		支出の部	
前期繰越	300,691	総会費用	243,360
総会費収入	215,000	会報費	154,332
年会費	240,000	通信費	0
特別年会費	17,000	渉外費	75,140
雑収入	150,000	事務費	9,000
利息収入	0	雑費	24,422
次期総会参加費前納金	28,000	予備費	0
		次期総会参加費繰越分	28,000
		次期繰越	416,437
合 計	950,691	合 計	950,691

## 同窓会報バックナンバーの創刊号～42号

佐藤崇雄さん (58 期) から提供を受ける

初代の会報編集長・佐藤崇雄さん(58期)から、創刊号(平成7年7月)～42号(平成28年1月)まで20年分の会報、計42冊を提供いただきました。令和元年9月の総会で翌年が関西同窓会30周年となるため、会報のバックナンバーのデータ化と公開を決め、会員に提供を呼びかけていました。佐藤さんは呼びかけに応え自宅に保存していた会報を提供されました。

会報のデータ化と公開の具体的方法については今後役員会で詳細を詰めたうえ、実施してゆきます。また、冊子「上田高校関西同窓会30年の歩み」作成についても並行して作業を進めてゆきます。



創刊直後の関西同窓会報 1～5号

## Impossible is Nothing

上田高等学校長 廣田 昌彦



前の改元の時に「平成」の新元号を公表する役回りで「平成おじさん」として知られ、のちに総理大臣を務めた小渕恵三という人がいました。彼は1998年に総理に就任しましたが、今後日本が世界に伍していく際にとるべき態度を「建設的な楽観主義」という言葉を使って表現しています。

高校生は人生経験が不足していますから、ちょっとした課題や問題に遭遇するとその深刻さを冷静に量ることができずに動揺します。それは無理のないことで、そのような状況にある若者たちに対して周りの大人は、「それは君にとってはとても乗り越えたい問題に思えるかもしれないが、もっと大きな視野からみればそれは断じて大したことではなく、君はそれに取り組む十分な資質を持ち合わせている」と勇気づけることが大切だと思います。

大人がこれまでの経験をもって若者に教えるべきなのは小渕恵三が唱えた「建設的な楽観主義」なのではないでしょうか。単に幸運を期待し、ぼんやりと好転を待っている不毛な楽観主義者は何も手に入れられません。将来に対して肯定的な期待を抱くと、それがやる気へつながり、目標にむけた建設的な行動を促します。

台風19号の被害と学校の対応については、柳沢教頭が詳しく書いていますので別稿をお読みください。あの時、約400人もの上田高校生を含む上田市内の大勢の高校生たちがしなの鉄道と上田電鉄の不通によって通学の不便をきたしましたが、大人たちが必死になって、何十台もバスをかき集め早朝から高校生を送迎したり、しなの鉄道の定期で新幹線に乗れるようにしたりと、一見不可能に思えるようなことをごく短期間で実現したことも、大切な教訓を大人が若者に示すことができたと思います。

今回のことを上田高校の生徒はいつまでも忘れず、今後、何か大きな困難に遭遇したとき、たとえ不可能と思われようと、前例にとらわれず、互いに協力し合って問題を乗り越えていってほしいと願ってやみません。

### <令和元年台風19号の影響>

#### 全校生徒の40%が通学の足を奪われる

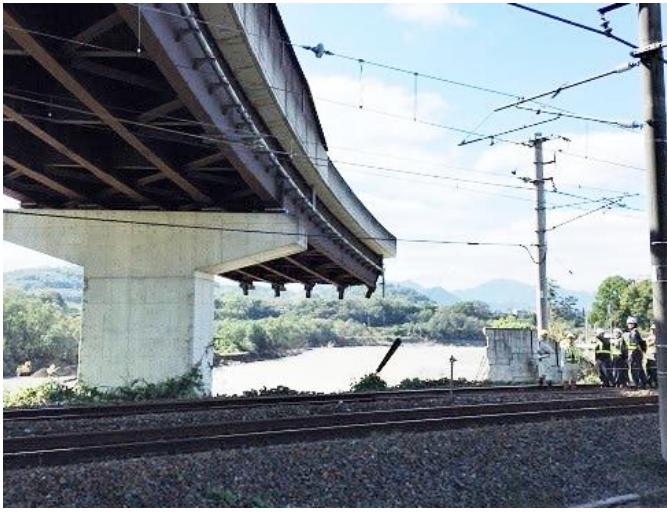
全日制教頭 柳沢 忠男

関西同窓会の皆様には、日頃より物心ともども母校を支えていただき、誠にありがとうございます。

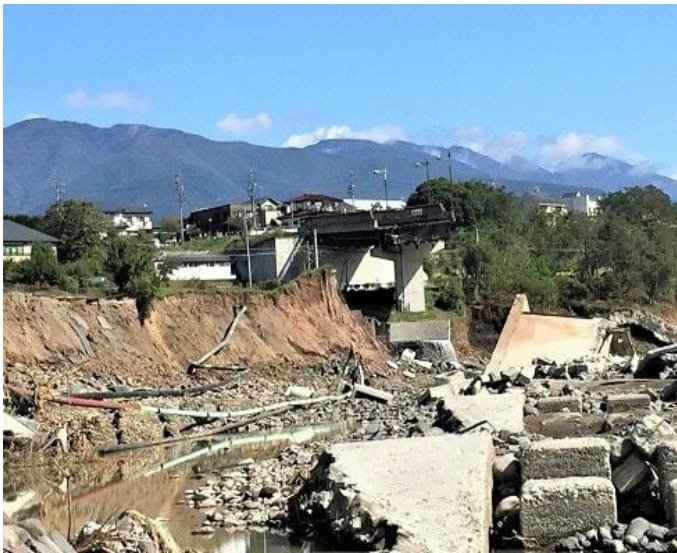
全国ニュースにも取り上げられました通り、10月12日夜から翌日未明にかけて通過した台風19号は、長野県に大きな被害をもたらしました。本校にも少なからず影響がございました。

#### しなの鉄道、上田駅—田中駅間が不通に

中でも、通学に係る被害は甚大で、生徒の多くが利用するしなの鉄道が、東御市で起きた道路崩壊の影響で上田駅から田中駅までが不通となったことで、全校生徒のおよそ35%が、また上田交通別所線の千曲川に係る鉄橋の崩落で別所線が不通となったことで約5%の生徒が、通学の足を奪われてしまいました。この数字は他の県立高校と比しても圧倒的な数に上り、学校としても



しなの鉄道線路上の海野宿橋崩落現場



水が引いた千曲川から見た海野宿橋崩落現場

色々な対応を迫られることとなりました。

台風直後の火曜・水曜は、本校でも通学困難な生徒に通学方法を検討してもらうために、臨時休校の措置を取りました。

その後、始業時刻を繰り下げたり、授業時間も短縮したりと工夫をし、何とか学校再開をしましたが、当初は道路の復旧状況もままならない中、ご家庭の方々の送迎や近隣の生徒さん同士での乗合い等の工夫をいただき何とか登校してくる生徒もおり、中にはご家庭の方のお勤めの都合で早朝に家を出発し午前 6 時半ごろに学校まで送って来てもらう生徒もいました。

生徒の通学方法の確保や通学困難者の学習支援のために、学校長が陣頭指揮を執り、様々な方面への働きかけを行いました。校内でも、生徒を合宿所に一時的に寝泊まりさせる方法を探ったり、先生方も自発的に通学困難な生徒対象のインターネット回線を用いた授業内容や教材の提供や、学校へ来ることができない生徒へ進路関連の書類を届けたり等、様々な対策が講じられました。

### 代替輸送始まる 小諸駅以東の利用者は北陸新幹線で上田まで通学可能に

県内中が混乱した時間を送る中、連日の働きかけの甲斐もあり県教育委員会は、県やしなの鉄道に呼びかけ 10 月 23 日から高校生救済のためのしなの鉄道上田駅―田中駅間の代替輸送を発表しました。この代替輸送で、生徒たちは家族の送迎がなくても、しなの鉄道の定期券を提示すれば、滋野駅以西の利用者は代行バスで上田駅まで、小諸駅以東の利用者は北陸新幹線で上田まで通学できることとなりました。代替輸送もはじめのうちこそ、いろいろと混乱もありましたが、その後は少しずつ生徒も慣れてきて、学校生活も徐々に日常を取り戻しつつありました。しかしながら、この間も定時制の生徒が授業を終える時間には、代替輸送バスの運行がなく、定時制の先生方が、本校の野球班のバスで東御市方面へ送る対策も取られました。

### 11 月 15 日から、しなの鉄道の運行再開、上田電鉄別所線も城下駅まで運行

台風 19 号からおよそ一カ月が過ぎた 11 月中旬、東御市の崩落した現場の復旧作業も見通しが立ち、運休区間であったしなの鉄道上田駅―田中駅間も 11 月 15 日（金）からは運航が再開されました。

また、時同じくして、それまで下之郷駅までしか運行されていなかった上田駅別所線も城下駅まで運行されることとなり、塩田平の生徒たちも電車で通学できるようになりました。

学校も、それまで日課を工夫して、なんとか授業を行ってまいりましたが、運行再開に伴い、11 月 19 日（火）からはこれまで通りの通常日課となり、やっと日常を取り戻しつつあります。



県内各所に大きな爪痕を残した台風19号でしたが、上田高校生はこうした事態を目の当たりにし、自分たちでも何かできないかと、台風直後から災害ボランティアに参加し、地域の復興に貢献する者がいたことも、たいへん誇らしいことでした。

生徒にとっては普通に学校生活を送れる事がとても貴重なことであることに、改めて気が付く事の出来る経験だったと思います。

最後となりますが、これまで多くの方々から親切なお申し出や励ましのお言葉を頂戴したことは、学校としてもとても心強く、大きな支えとなりましたこと、皆様方に改めて感謝申し上げます。引き続き、本校の教育活動に対し、皆様方のご支援をお願い申し上げます。

※海野宿橋崩落の写真は編集部が、ブログ『信州自由人』（東御市在住）の写真をご本人の了解を得て使用させていただきました。

## 母校の「課題研究入門講座」に参加して

中小企業家同友会全国協議会専務幹事 荻原靖（74期）



10月29日、上田高校で一年生を対象にした授業「課題研究入門講座」で、「企業の社会的役割とは何か？」について話す機会を得ました。

ご存知の通り、スーパーグローバルハイスクール（SGH）の指定校なので、最近話題のSDGs（持続可能な開発目標）に触れないわけにはいきません。2018年、関東経済産業局などが中小企業経営者の認知度調査を実施し、「SDGsについて全く知らない（本調査で初めて認識）」という回答が84%を占めたという実情を紹介し、SDGsの概略も説明しました。また、女性や高齢者、障害者の雇用では、中小企業が大企業以上に大きな役割を果たしていることなどもデータを示して話しました。

授業を終えて教員と話をすると、なんと！SDGsが既に高校入試問題で出されていると知り青くなりました。就職の面接で「御社の事業はSDGsとどう関わっていますか」と質問する時代になっています。

### 今年の「課題研究入門講座」のテーマ一覧

同窓生による課題研究入門講座は10月29日（火）に行われました。12名の講師によるテーマは以下の通りで、多彩なテーマが並びました。

「ジェンダーと人権～弁護士の視点から～」

『万葉集』－「令和」の典拠 「健康を守る国際協力」

「酪農・第一次産業が環境保護に果たす役割」

「企業の社会的役割とは何か？」 「イノベーションを起こそう」

「子どものこころとからだのサインを知ろう」

「これからの情報通信技術の動向とそれが実現される時代に向けて」

「日本の医療・社会保障の現状と課題」

「看護の魅力、そして看護職に求められる役割」

「触れないであやつるーカメラを用いた非接触型インターフェースの開発ー」

「まちづくり・むらおこしの勘所～試百難の巻～」



## 長野県中小企業振興センターの現状と課題

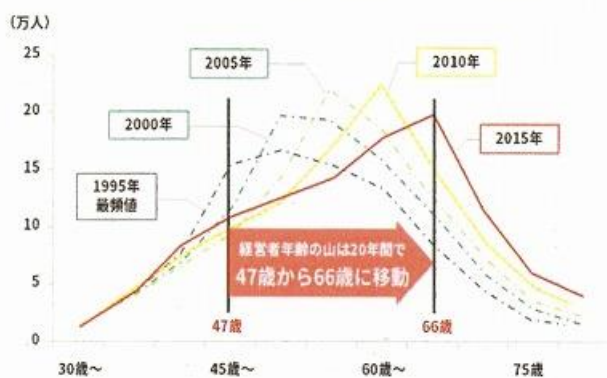
シナノケンシ株式会社取締役社長 金子元昭（68期）

本日の講演のテーマは『長野県中小企業振興センターの現状と課題』と題し、私自身が理事長を務めている同センターの活動と課題を説明させていただく。同センターは長野県産業労働部の実働部隊として県内の中小企業をサポートする活動を担っている。県内に限らず、中小企業は産業構造の変化や少子高齢化でその環境が厳しくなっており、特に事業承継が大きな問題となっている。



### 年々減少する日本の中小企業

#### 経営者の年齢分布



経営者は年々高齢化している

中小企業は一般的に家族で経営するケースが多く、後継者も親族、特に子供が期待されてきた。しかし、少子化で子供の数が減り、候補となれる次世代の絶対数が落ちている。

また、人手不足で就職が容易になっているため、敢えて高いリスクを取ってまで後継者の道を選ぶ若者も減っている。両親が苦労して経営する姿を見て、後継者という選択肢は魅力が乏しくなっている。

中小企業は日本の産業の基礎を支えているが、その数は年々減少している。日本の産業構造が変化の中で、その変化に追従できない企業の退出や後継者不足で廃業する企業が増えている。また、少子高齢化で若年人口が減少し、安定した生活を好み、リスクの高い起業を選択する若手も減っている。関係機関がまとめた統計では、2025年には中小企業経営者の70%程度が70才を超える年齢となると予測されている。高齢者の能力は、かつてに比べて高いとは言え、変化に追従する能力やリスクに対して果敢に挑戦する意欲は衰えると言われており、将来は不安である。

#### 事業承継の状況と方法



親族への事業継承は34%

#### 親族以外への事業承継に資金問題のネック

もう一つの要素は資金である。中小企業では会社の資金と経営者の私財の区分が不明確になりやすい。経営が非常に安定している企業では区分を明確にできるが、経営が厳しい企業では給与を支給したことし、その金額を会社に対して貸し付けることで資金を運用するケースもある。

金融機関との関係でも経営者個人が保証を入れることが一般的になっている。このため、親族以外で事業承継を考える場合、その資金をどう調達するかがネックとなる。子供への継承では相続時に会社の株式を無税で次の世代まで引き継げる制度ができていたため、資金の問題は解決可能であるが、社内で親族以外に後継者を育成する場合、10年程度の長期計画で進めることが必要となる。もともと中小企業の内部人材はそれほどの厚みを持っていないため、後継者の育成も容易ではない。

### 長野県中小企業振興センターの活動

長野県中小企業振興センターでは中小企業支援のために、幅広い活動をしている。起業・創業支援、技術開発支援、マーケティング支援、経営サポート機能、そして事業承継支援など、全ての面でサポートしている。しかし、長野県は地理的に広く、全てをセンターの人員でカバーすることは容易ではないため、外部機関との連携が欠かせない。

具体的には長野県の他の行政機関、金融機関、企業団体などとの連携を積極的に進めている。特に事業承継では現場をよく知っている金融機関、商工会議所、商工会、市町村の商工関係部門との連携を保っている。事業承継でも県内の地銀、信用金庫などのOBを採用し、色々なパターンの事業承継策を検討できる体制を作っている。

振興センターの職員構成は大きく分けると、振興センター生え抜きの職員、長野県庁からの出向者、アドバイザー・相談員など民間企業のOBの3つのグループで、それぞれが役割を分担して事業を行っている。通常の経営は理事長以下の理事が行い、経営の意思決定は民間企業のメンバーを入れた理事会が行っている。

また、顧客である中小企業のメンバーをいれた評議委員会が具体的な事業内容の議論に参加している。トップである理事長は、かつては県庁からの出向組が任命されていたが、現在の阿部知事の体制になってから、民間企業のトップが行うようになった。

講師自身が現在の理事長だが、日常的な経営については一切、関与していない。現在の専務理事は県庁OBで、混成部隊を率いることとなり、まずは振興センターの「目指す姿」を策定したいと意気込んでいる。講師自身もその動きには賛同しており、意見を言っている。

顧客は中小企業であるが、内容は多岐にわたっている。長野県は製造業の比率が全国平均に比べて高いため、製造業の中小企業が多い。ただ、電気・機械だけでなく、食品、観光みやげの製造業も多い。

また、観光関連も多く、ここ数年の企業破綻は旧来の旅館で多発している。中小企業のサポートと言っても、意欲ある企業とそうでない企業の差は大きく、全体としてのセーフティネットの整備と、意欲ある企業のサポートの両面で今後とも活動してゆく。

### 私が感じている全般的な課題

#### ■日本の問題

バブル崩壊後、30年近く経過するが、この間、成長がほとんど停止してしまい、国際的な産業競争力が極めて落ちている。それにもかかわらず、その意識、危機感が国全体に感じられず、新しい動きが見えない。

#### ■政策の問題

役所なので「税金による運営」が意識され、「失敗」を許容しない風土がある。国や県の施策を待っていたり、「前例・横並び」が選択さ

れやすい。民間では当然行われている、「選択と集中」が難しくメリハリがつけにくい。

#### ■長野県の公立高校の問題

長野県の公立高校は人口減少にもかかわらず統合が進んでいない。県の予算が厳しくなる中、県立高校の維持管理の予算が減っている。こうした状況のなか上田高校の門、土塀、堀の管理ができなくなっている。

このような現状に理解を求め、同窓会の援助が必須であることを訴えて終了した。

## <秋の文化交流会>

### 京都伏見界隈を探索する

佐藤則一（70期）

令和元年10月19日（土）、関西同窓会の秋の文化交流会が行われました。今回のテーマは“京都伏見界隈探索”です。

#### 伏見大手筋通りを東へ

午前10時、京阪電車「伏見桃山駅」に参加者9名が集合。ここからボランティアガイドさんの案内で、近くの伏見城下日本で最初の銀座発祥の地の碑を見学してから、にぎやかな大手筋通りを東へ向かいました。ゆるやかな上り道です。この一帯は鳥羽伏見の戦いの場所となった地です。界隈には当時の弾痕の後が残った家がありました。途中、御香宮神社（ごこうのみや）に立ち寄りました。ここは鳥羽伏見の戦いの折、薩摩軍が陣を敷いた場所です。

#### 伏見城跡（現明治天皇御陵）へ

その後、伏見城跡（現明治天皇御陵）へ向かいました。伏見城のオリジナルは指月伏見城で、秀吉により宇治川の伏見側に築城されたそうです。しかし、この城は1596年（文禄5年）の地震で壊滅。少し高台の地に木幡山伏見城が築城されました。

その後1619年（元和5年）頃に徳川幕府による一国一城制度により廃城されるまで、ここが日本の政治の中心地だったそうです（家康も居住）。その後は桃畑になっていたようですが、



伏見城跡（現明治天皇御陵）で

明治天皇がこの場所を訪れた際、この場所を買っておくように命じ、後に明治天皇御陵となりました。ゆるやかな坂に見えましたが結構きつい登りで、頂上につくと一同疲労困憊といった表情でした。

#### 「鳥せい本店」にて昼食

ここからは元来た道を下り、集合した駅を通り過ぎて「鳥せい本店」にて昼食。なかなか予約の取れないお店だそうです。元々は作り酒屋だったそうで、隣の酒蔵製の美味しいお酒と鳥料理を満喫しました。

昼食後は近くの寺田屋を見学。お龍さんが一階の風呂場から飛び出して二階の竜馬に知らせ、竜馬が屋根伝いに逃げて難をのがれた場所です。

その後、月桂冠大蔵記念館を見学。伏見の酒作りの行程を学び、3種類の酒の試飲などを楽しみました。ユニークなコップ付き月桂冠レトロボトルはお土産にお勧めです。

#### 十石船に乗船

続いてすぐ近くから十石舟に乗船。途中琵琶湖疎水や高瀬川と合流し、三栖閘門（みすこうもん）に向かいました。水運で栄えた往時を偲ぶ風情のある船旅でした。

以上今日一日、日本史の舞台となった伏見界隈を満喫した一日となりました。

今回は83期土屋氏にホスト役としてお世話になりました。



十石舟の船内で



## 第13回文化サロンのご案内

### 上田藩出身の幕末の志士・赤松小三郎のお話です

文化サロンは皆様のご協力により、第13回目の開催を迎えます。今回は講師に関西同窓会会員で、郷土の歴史について大変造詣の深い48期関口貞雄氏から上田藩出身の幕末の志士赤松小三郎についてお話を伺います。

皆様お誘い合わせの上、ご参加ください。

【テーマ】 「郷土の先覚者 赤松小三郎」

【日時】 2020年2月15日(土) 午後1時～4時

【場所】 ホテル・アウイーナ大阪 207号室

〒543-0031 大阪府大阪市天王寺区石ヶ辻町19-12

<アクセス> 大阪上本町駅から徒歩3分・地下鉄谷町9丁目駅から徒歩8分

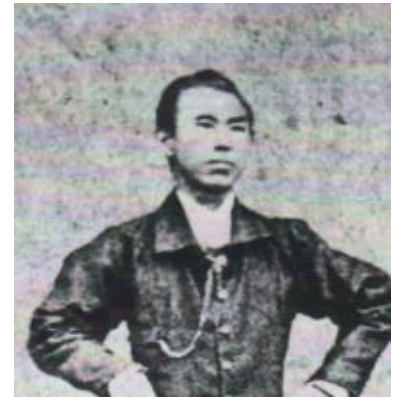
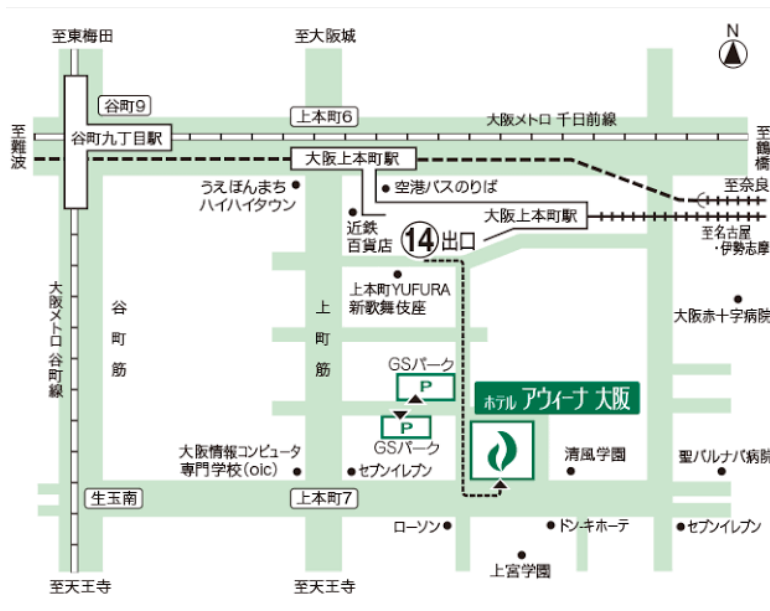
【講師】 関口貞雄氏(関西同窓会48期)

【会費】 1,000円

【申込先】 〒635-0013 奈良県大和高田市昭和町8-11-226 武舎 一夫

email: pretrejean@nifty.com FAX: 078-583-5775 (隅田幹事長宅)

2月5日(水)までに上記宛にお申し込みください。



赤松小三郎

天保2年生まれ～慶応3年没

### 赤松小三郎の生涯

- 1 出生と英才教育
- 2 江戸へ遊学
- 3 赤松家へ養子入り
- 4 勝麟太郎の永解塾へ入塾
- 5 長崎海軍伝習所へ勝の従者として入所
- 6 オランダ兵法書翻訳
- 7 松代藩士白川久左衛門娘たかと結婚、佐久間象山と面会
- 8 英語学習
- 9 「英国歩兵練法」翻訳、出版
- 10 京都で英国式兵学塾開く
- 11 京都薩摩藩邸で英国式兵学を教授
- 12 会津藩で銃隊調練稽古
- 13 「建白七策」を松平春嶽、島津久光、および幕府へ提出
- 14 赤松小三郎暗殺される
- 15 葬儀と墓建立
- 16 遺髪赤松家墓へ埋葬、赤松家断絶